

賛助会員だより



株式会社トランスウェア

ホスティングで利用する Webメール「Active! mail 6」 ～立正大学 全学1万ユーザー規模の導入事例～

ホスティングサービスでActive! mail 6を

立正大学のインターネット環境は、現在では大学の公式ホームページ、メール環境ともに外部のホスティングサービス事業者に委託をして快適な運用を実現しています。

「以前は学内にメールサーバーを設置して自学で運用していましたが、管理者の負荷が増大したこともあり、負荷軽減を実現するために平成14年に外部のホスティングサービスの利用に切り替えました」と情報メディアセンター 大崎情報システム課のご担当者は当時の経緯を話します。メール環境については、当時からまだあまり一般的ではなかったWebメールを利用しています。ただし、フリーのWebメールを利用していたために、使い勝手が悪い、シンプルすぎるメニューで機能が少ないなどの多くの不満点がありました。そこで、平成20年の9月より、以前から使い勝手とインターフェースの良さを評判を聞いていたActive! mail 6に切り替えました。

「新しいWebメールの選定にあたっては、大学での豊富な導入実績や、学生の利用を想定した画面、ユーザーフレンドリーな部分などを考慮すると、Active! mail 6以外には特に候補になったものはありませんでした。ホスティングサービスを提供してもらっているパリオ・セキュアネットワークスに、Active! mail 6でのメールホスティングを提案して欲しいと私どもの方より伝えました」とご担当者は話します。

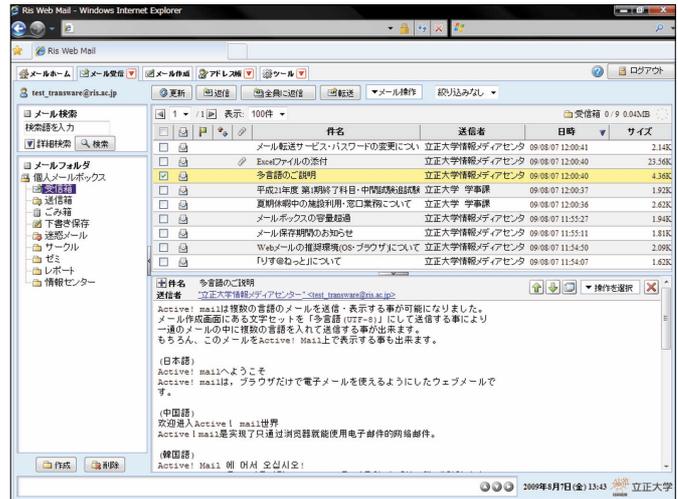
Active! mail 6の導入にあたっては、以前使用していたWebメールとの併用期間を半年程設けましたが、学生は新しいものにも慣れるのが早く、Active! mail 6の直観的に利用できるインターフェースも手伝って、ほぼスムーズに移行することができました。

「Active! mail 6を使用してみて実感したのは、やはりタブを利用したインターフェースとその使い勝手の良さです。特にAjaxを用いて開発されているので、画面のビューサイズの変更やドラッグ&ドロップによるメールデータの移動などができるところも魅力です。また、インターフェースカラーを好きな色に変更できるところも気に入っています」

学生のレポート提出などにもActive! mail 6を利用

Active! mail 6は、全学の教員、学生の1万アカウントを超える規模で利用されていますが、特に学生には入

学と同時にメールアドレス利用時のIDとパスワードを、一人ひとりに付与しています。また、授業でも利用されており、教員によってはレポートをActive! mail 6を利用して提出させるようにしています。



メール受信画面

メール資産を卒業後にも同窓会などに有効利用 してもらいたい

Active! mail 6の導入後は、大きなトラブルもなくほぼ安定した稼働を続けていますが、今後の利用の課題について、ご担当者は次のように話します。

「最近話題になりつつあるフリーのWebメールの利用は、現段階では考えていません。「安かろう」「悪かろう」というメールシステムになってしまっては困りますし、障害時の対応のリスクや24時間サポート、決して安くはないサポート・維持費など、まだまだ課題があると思っています」

「Active! mail 6に関しては卒業後にも蓄積されたメール資産を有効利用できるような仕組みができればと考えています。卒業後もコミュニケーションを保ち、特に同窓会の連絡などに有効活用できると思います。パリオ・セキュアネットワークスやトランスウェアと相談しながら実現できればと期待しています」

問い合わせ先
株式会社トランスウェア
営業部

TEL:03-5540-0083

E-mail : active@transware.co.jp

http://www.transware.co.jp/